

第46回 腫瘍病理セミナー・次世代北信がんプロFD講演会 金沢女性研究者フォーラム

東京科学大学 リサーチ
インフラマネジメント機構
副学長 中山啓子



がん化における スプライシングの変化

略歴

1986年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業
1991年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科修了
1991年～ ワシントン大学医学部 ポストドクトラルフェロー
1997年～ 九州大学生体防御研究所 准教授
2003年～ 東北大学医学系研究科 教授
2004年～ 東京医科歯科大学 リサーチコアセンター長 から 現職

私たちは、次世代シーケンサーの登場をきっかけに、東北大学病院の先生方の協力を得て、単因子遺伝性疾患の原因遺伝子の探索、疾患によるエピゲノムの変化の抽出など行ってきました。本日は、がん組織と非がん組織のトランスクリプトーム解析からスプライシングの変化に注目した研究を紹介します。

がんにおけるマイクロエクソン（非常に小さいエクソン）のスプライシングパターン、制御機構、役割についてはほとんど報告がなく、私たちは、大腸癌（CRC）で探索を行いました。その結果、細胞接着や細胞移動に関連する遺伝子に変化が認められ、腫瘍化に関与していることが示唆されています。

このような遺伝子変異を伴わない発現変化について、最近の知見もお話したいと思います。

2024年12月4日（水）16時～
金沢医科大学 医学教育棟 4階
E41講義室
Zoomでの参加はQR→
その他、お問合せ↓
d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp



次世代北信がんプロ単位申請対象セミナー

主催：金沢医科大学病理学 | 共催：次世代北信がんプロ・金沢大学がん進展制御研究所・HWRN